

国際規格の動向—国際会議に出席して—

須賀茂雄

ISO/TC61(プラスチック) ドイツ・ベルリン国際会議

2016年9月19日～23日にISO/TC61(プラスチック)の会議がドイツ・ベルリンDIN(ドイツ規格協会)にて開催され、当社喜多英雄と片野邦夫と共に出席した。当社に係る審議について報告する。



スガ摩耗試験機 NUS-IS03 型

(1)SC2 (機械的性質) /WG2 (硬さ及び表面特性)

開催日:2016年9月19日

参加国:中国・チェコ・ドイツ・フランス・イタリア・日本・マレーシア・韓国・タイ・イギリス・アメリカ 11ヶ国 26名
・日本提案(当社片野がPL(プロジェクトリーダー)のISO/NP 20329(往復運動平面摩耗試験)について、NP投票の結果は、100%賛成、5か国の積極参加が得られたため、承認となった。今回の会議では、NP投票時に寄せられたコメントが議論され、CDステージに移行することが決定された。

(2)SC4 (燃焼挙動) /WG8 (着火、燃焼の広がり及び燃焼発熱)

開催日:2016年9月22日

参加国:ベルギー・フランス・イラン・韓国・オランダ・イギリス・日本 7ヶ国 15名
・当社片野がPLのISO/DIS 4589-1、-2、-3(酸素指数燃焼性試験法)について、DIS投票結果は100%賛成であった。投票時に寄せられたコメントについては、5月にブリュッセルで行われたWG8中間会議にてPL片野よりその対応を説明し議論され、文書の変更が必要となったため、FDIS投票を行うこととなっていた。今回の会議では、事務局に提出されたFDIS文書(案)を投票に進める事が確認された。

(3)SC6 (耐候性) /WG2 (光暴露)

開催日:2016年9月19日20日

参加国:ドイツ・チェコ・フランス・インド・日本・韓国・イギリス・アメリカ 8ヶ国 28名

Gary Cornell委員からWeatheringに特化した用語をISO化する必要ありと提案があった。またコンベナーから用語についての統一案が提案された。

・ISO 4892-3(第3部:紫外線蛍光ランプ)は、Annex内にテクニカルな間違いがあり、今後修正案をPLが用意する。

・ISO/DIS 9370(プラスチック耐候試験における放射露光量の機器による定量—一般指針及び基本試験方法)は、コメントに対し修正されたものをFDISとしてPLが12/31までに用意する。

・ISO/DIS 4582(プラスチック温室での自然光、自然の風化作用又は実験室光源に暴露後の色の変化及び特性の変化の測定)は、コメントに対し修正されたものをDIS2としてPLが10/31までに用意する。

・ISO/NP 21488(人工光源+屋外暴露試験)は、試験結果について疑問があり、1年かけてデータを集め、来年の会議で説明を行う。

・日本提案(当社喜多がPL)のISO/NP 21475(分光老化試験)は、ドイツからのコメントを盛り込み汎用性の高い規格にするためWD2をPLが11/30までに用意する。

・ISO/TR 19032(ポリエチレンリファレンス試験片)は、紺野委員からポリエチレンリファレンス試験片が入手不可なため廃止の提案がされたが、各国での状況を確認し来年決定する。

(4)SC6 (耐候性) /WG3 (諸暴露)

開催日:2016年9月19日

参加国:アメリカ・ドイツ・日本・チェコ・イギリス・韓国 6ヶ国 18名

・ISO/CD19721(人工芝の耐候性試験)のコメントに対して議論されたが、照射とスパイク摩耗の同時試験はおかし、サイクル試験に直し、CD2を作成回送することになった。



TC61/SC6 会議風景



TC61 バンケット風景 (歓談中の当社片野委員)

次回は、2017年9月18日～22日、韓国で開催予定。

ISO/TC79/SC2(軽金属及び同合金) フランス・パリ国際会議

開催日:2016年10月5日

場所:AFNOR(フランス規格協会)会議室

参加国:ドイツ・イギリス・中国・日本 4ヶ国11名

SC2/WG15 (アルミニウムの陽極酸化皮膜、 有機塗料膜及び複合皮膜)

須賀がPLの下記2件についてはDIS投票が開始される。

・ISO 2135(着色陽極酸化皮膜の人工光源を用いた促進耐候性試験方法)

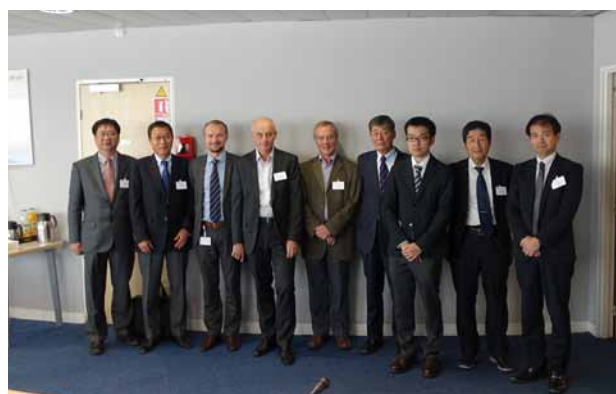
・ISO 10216(写像性の測定方法—機器測定法)

下記2件については、須賀が各国からのコメントについて説明し、審議の結果、須賀がPLとなり、年内にDISを作成し回送することになった。

・ISO 7668(20°, 45°, 60° 及び85°における陽極酸化被膜の鏡面反射及び鏡面光沢度の測定)

・ISO 8251(陽極酸化皮膜の耐摩耗性の測定)

また、ISO 10215(写像性の視感測定方法—チャートスケール法)についても須賀がPLとなり、改正される予定。



TC79/SC2 メンバ

次回は、2017年9月25日～29日、中国北京で開催予定。

< ISO 規格発行までの手順 >		
予備段階	PWI	Preliminary Work Item (Project)
提案段階	NP	New Proposal for a work item
作成段階	WD	Working Draft
委員会段階	CD	Committee Draft
照会段階	DIS	Draft International Standard
承認段階	FDIS	Final Draft International Standard
発行段階	IS	International Standard

ISO/TC42/WG5(写真/画像の保存性)カナダ・トロント国際会議

開催日:2016年11月14日～17日

場所:カナダトロントRyerson大学

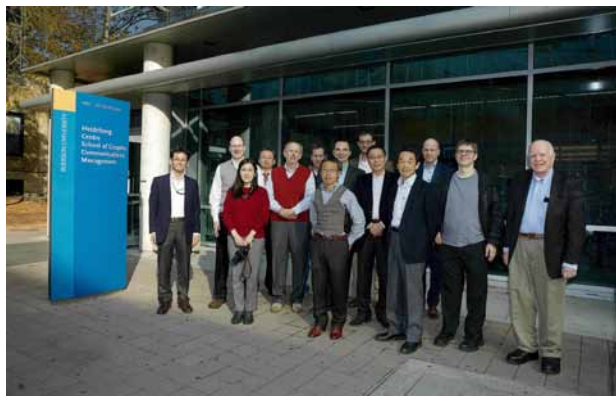
参加国:オランダ・日本・ベルギー・アメリカ・4ヶ国12名

WG5 (物性・保存の試験法)

・ISO 18937(イメージング材料ー現像済み写真印画紙ー屋内光の安定性の測定方法)

現在改訂中の第2版についてPLのMatt委員は、スガからの温度データとおおむね一致すると表明し、Matt委員がATLASのデータを送り、日本は、そのデータを比較することになった。試料温度25-30℃での槽内温度、BP温度のデータをグラフにまとめお互いに議論する。NPを12月に回送し、CDから始める。次の第3版は、現在ISO 4892に従いPart制で再作成中。Part1には、光源や温度条件を入れず通則にし、Test Targetは、別規格からの参照とする。Part2キセノンを用いた試験もISO 4892-2に従った構成にする。出来ているものをコンベナーからメンバに回送する。Part3白色蛍光灯はPL須賀が、ドラフトを説明した。Part4LEDはPLウィルヘルム委員がLED試験の説明をし、RR(ラウンドロビン)テストを準備することになった。Draft1には、家庭用、バックライト、美術館用等について規定する予定。芝原委員から日本でもLEDについての研究を検討しているとの報告あった。

次回は、2017年6月5日～9日、アメリカ・Santa Claraで開催予定。



TC42 メンバ

◆海外最新情報◆

Suga Open Lab at Agfa-Labs

ベルギーのモルツェル市にあるAGFA材料技術センター内のSuga Open Labでは現在キセノンウェザーメーターGX75CE型が4台、スーパーキセノンウェザーメーターSX75CE型が2台、全て設置以来フル稼働の状態です。



GX75CE 4台、SX75CE2台

ドイツ販売店

THERMOTEC Weilburg GmbH & Co. KGセミナー

日時:2016年9月27日(火)

場所:THERMOTEC社

ドイツ販売店のTHERMOTEC社にて、当社須賀社長が促進耐候性試験機と腐食促進試験機について、色彩課課長喜多英雄が色彩製品についてセミナーを行いました。BASFをはじめ欧州企業が参加し、セミナー後はTHERMOTEC社内を見学、キセノンウェザーメーターGX75CE型の実機説明と活発なディスカッションが行われました。



THERMOTEC 社メンバとセミナー参加者